

§ 0.0 変数と定数

数学では数などを a とか b とか x とか y などの記号で表します. いろいろなものを表す記号を変数 (variable) といいます. 右下に番号を付けた変数 x_1, x_2, x_3 などを用いることもあります. 変数が表すものをその変数の値といいます. 例えば自然数を表す変数 n はいろいろな自然数を表します; n が表す自然数が 7 のとき, n の値は 7 であるといえます.

ある局面で変数 a の値を一定にするとき, つまり, 変数 a が表すものを変えないとき, その間だけ a を定数 (constant) といいます. つまり次のようになります:

変数の値を一定にしている間だけその変数を定数という.

ですから, 定数とは特殊な状況にある変数です¹⁾.

¹⁾ 変数ではない本当の定数もあります. 本当の定数とは, 例えば円周率を表す記号 π のように, いつでもどこでも同じ数を表す記号です.